

冒険心が飛翔する“100人の戯空間”

ウイング フィールド

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F

TEL (06) 6211-8427 FAX (06) 6211-6312

ウイングフィールド公式サイト URL <http://www.wing-f.co.jp>

ウイングフィールド提携公演 第8回むりやり堺筋線演劇祭参加

脚本 / F・アラバール 演出 / 柘参蔵

6/18(土) 3:00 **フェルナンド・アラバール 作品撰 2**

7:30

19(日) 11:00 **「迷路」**

4:00

出演 / 劇団大阪新撰組

料金 / 前売 2,500円 当日 2,800円

中学・高校生 1,500円 (要学生証呈示)

作・演出 / 北村耕治

猫の会ツアー公演ありふれた話2016

旅劇

21(火) 5:00 **「ありふれた話」**

8:00

出演 / 猫の会

料金 / 2,000円 (前売・当日とも)

高校生以下 1,000円 (予約のみ 1~5名様まで一組 1,000円)

平成28年度 大阪現代舞台芸術協会 (DIVE) 総会

29(水) 意見交換会 7:00

総会 8:00

ウイングカップ6受賞作品

【最優秀賞】 劇団冷凍うさぎ「We are lucky friends」

劇団 N2「居坐りのひ」(2団体同時受賞)

【優秀賞】 無名劇団「恋人がビッグフット」

【参加団体】 劇団ハネオロシ・劇団冷凍うさぎ・舞台工房 SOLA-Tobu.

劇団太ロウ・無名劇団・劇団 N2

【お詫び】

現在配布されている WING HOT PRESS 今月号にて、

団体名表記に誤りがございました。

関係者各位にご迷惑をお掛け致しましたこと、お詫び申し上げます。

(正) 舞台工房 SOLA-Tobu.

(誤) 演劇集団 SOLA-tobu.

ウイングカップ6 受賞団体決定!

今回で6回目の開催となったウイングカップ。今年
は6団体の若手劇団にご参加頂きました。参加団体の
皆様、審査員の皆様、そして各公演にご来場頂
いたお客様の多大なご協力、応援を頂き無事終了
いたしました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今回は2団体に最優秀賞が送られる結果となりました。
抜粋ではありますが3時間を超えた審査会で各
団体の作品へ送られた言葉を記しておきます。

◆劇団冷凍うさぎ【最優秀賞】

・ライトノベル風のもってまわった主人公の語り口、並
行世界、どのフラグを立て回収し、どのルートでエン
ディングに向かうかというゲーム的なリズム。と
てもよくできたゼロ年代風若者演劇。(土橋)

・単に平行世界を扱った作品ではなく、演劇を通じて、
平行世界の経験が個人の中に蓄積されていくこと
を実践してみた。(笠井)

・私たちを取り巻く「世界」の過剰な流動化に対す
る根源的な不安を捉えている作品だと感じた。(三
田村)

・彼らの等身大のメッセージを感じたので推した。こ
れからどんどん変わっていくはずの彼らの作品を見
続けたい。(寺岡)

・ウェルメイドを期待した。もう少し突き詰めて作れば。
(広瀬)

◆劇団 N2【最優秀賞】

・大阪では稀な、物語が劇の時間を推進しないタイ
プの作品をこの若さで、一定の完成度で創り上げ
た事実は純粋に評価しなければならない。(三田
村)

・三名の俳優が語る言葉が溶け合う詩的な作品に
仕上げた。この作品から特定の物語を見出すこと
は難しい。しかし、感じるままに楽しんだ。(笠井)

・作品として観客にみせる以上、もう少しプレゼンが
できなければいけないのでは、と思いながらも、独
りよがりかと言われるとそうではない。だから面白い。
(広瀬)

・複雑な多重構造なので観客に理解され難く、誰も
選択しない表現手段を、あの若さで選び試行錯
誤を繰り返し、ついに結実させている。(塚本)

・とにかく徹底しているところに好感が持てる。(土橋)

◆無名劇団【優秀賞】

・総合力は団体中で最も高く、比例して完成度も高い。
統一感のある転換方法を提示しながらも、最後には
スピーディーに物語を転がし、統一性にこだわら
ない。皆で考えて自分たちの表現を編み出す方法
も良い。(塚本)

・劇団力を考えた上でトップだと思った。作品の内容
については凄く分かりやすく、皆が観て分かる。
これからの劇団の更なる成長に期待!(寺岡)

・戯曲は人と人の微妙な機微が書けている。木製の
美術の生かし方などについては検討の余地がある
のでは。(土橋)

・戯曲は人と人の微妙な機微が書けている。木製の
美術の生かし方などについては検討の余地がある
のでは。(土橋)

◆劇団ハネオロシ

・ストーリーテリングは良かったので、演出や演技をよ
り磨いて欲しい。(笠井)

・世界観の構築ができていない。詰め込めばワンラ
ンクもツーランクもあがる。(広瀬)

・テーマは明白で「愛と命」なのはよく解る。しかし
ストーリーを重視し過ぎるとテーマが希薄になってし
まうので注意したい。(塚本)

◆舞台工房 SOLA-Tobu.

・客席の雰囲気良かった。前説の大切さを再認
識した。自分達の信じた作品世界を真剣に作って
いた。(寺岡)

・設計図は面白い。あとは大きな予算をかけて構築
するのか、自分達の手作り感を強く打ち出すのか、
はっきりさせるとよいのでは。(土橋)

・虚構を演劇という形で舞台上に立ち上げるために
具体的に工夫する必要があるのでは。(三田村)

◆劇団太ロウ

・出会うべき人たちがすれ違い、出会うはずのない
人たちが出会う。そして悲劇が起こる。これが21
世紀かと感銘を受けた。(土橋)

・どれだけシンプルな空間であろうと、この空間をどう
見せたいのかという事を伝えないと演劇としてはま
ずい。机一つでも芝居は作れるという覚悟を作品
として見せたいのに、覚悟が見えない。(広瀬)